

作成日 令和4年10月21日

令和3年度第4回 高松圏域自立支援協議会 精神保健福祉部会リーダー会議

議事録

日付	令和4年10月21日(金)
時間	10:00~11:30
開催会場	かがわ総合リハビリテーションセンター 福祉センター2階第1研修室
	障害者地域生活支援センターほっと、大西病院、いわき病院、ピアサポーター、相談支援事業所EVEN、高松市障がい福祉課、香川県障害福祉課、三木町介護福祉課、高松市障がい者基幹相談支援センター(中核拠点)(2名) 順不同 計10名

※以下議事録、他の各資料中にGH、WGの記載があるときはGH=グループホーム、WG=ワーキンググループの意味である。

議題1: 情報交換	
議事	<ul style="list-style-type: none">・病院での面会は現在もリモート面会(時間制限有)、試験外泊も実施中。・ピアサポーター養成研修後、県での登録は新規9名で合計35名在籍。・10/31 丸亀市市民交流活動センター マルタスにてピアサポーターの交流会あり、24名参加予定。中西讃、高松圏域から半々くらいの人数で参加。・精神障害にも対応した地域包括ケアシステム構築推進事業、高等学校の保健教育課と連携して、県立高校の普及啓発について検討している。・子供のマスク着用について検討が必要ではないか。・ワクチン接種による集団訴訟が始まっている。・精神科病院で地域移行に関わるケース、物件探しや生活必需品の準備をサポートなども行っている。基幹センターとも連携して関わっており、退院後も繋がりを継続しやすいと受け止めている。 高松圏域ピアバンキングは計29名在籍、精神・身体共に新規登録あり。

議題 2：精神科病院、各病院の地域移行の取り組み状況の報告及び日常業務の中で感じる地域課題について出し合い議論

議事

- ・ GH (A) 体験利用時、共同生活におけるルールを守れない等あり。
- ・ 長期入院の方で病状が落ち着いているケースの地域移行促す。
⇒ 家人の理解得られず、思うように進められない。家人の考える退院可能な状態を支援者側と擦り合わせる必要がある。
- ・ 精神科病院で地域移行をしているケース、8月に支給を受けたが本人の体調不良の影響もあり面会許可が下りず、支援が進められていない。

議題 3：医療と福祉の連携ワーキンググループの報告

議事

- ・ 次回は1~3月あたりでの、対面開催を計画している。
⇒ 日程調整、会場が押さえられれば開催は早めになる。
- ・ 自己紹介シートは、個人の人となりを知るため用に簡単なものにサイズダウンして作成を検討している。

議題 4：ピアサポーター・スーパーバイザー派遣の報告

議事

- ・ 個別支援（定期的な支援も含め）、ピアサポーター交流会を実施。
- ・ 交流会では9月に栗林公園へ行き、ピアサポーターとしては日常会話やピア活動に関する相談など、普段話のできないことについて話ができたとの声がある。支援者としては、ピアサポーターの方と一緒に交流することで、マッチングを行うために必要な情報を掴むことができる。

議題 5：ピアサポート活動推進ワーキンググループの報告

議事

- ・ ピアサポーターのパンフレットについて、前回の精神保健福祉部会で頂いた意見も反映した上で修正を行った。また身体障害者部会からの意見も頂き、改めて修正をかけていく。
- ・ パンフレットのタイトルも決定。
- ・ パンフレットを地域の方々に手にしてもらうため、ダウンロード形式のことも検討しておく必要がある。A4での印刷を前提に、A4サイズの下原稿データを作成する。

	・パンフレットについての意見があれば、10/24(月)までにメールにて頂戴する。
今後の動き	11月にWGを開催し、検討していく。

議題6：高齢者分野との連携に関する報告	
議事	<ul style="list-style-type: none"> ・地域包括支援センター職員と精神保健福祉部会に所属する機関職員での研修を予定している。 ・部会所属している職員の参加者が定員に達していないため、人数を集めたい。
今後の動き	11/7 話合いの場にて、最終調整を行う。

次回：令和4年12月16日（金）10：00～11：30

場所：かがわ総合リハビリテーションセンター